

令和7年度 墨田区立中和小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 影山 祥仁

学校教育目標	◎よく考えて工夫する子ども ○自主性に富み責任感の強い子ども ○心ゆたかで思いやりのある子ども ○健康で明るい子ども
目指す学校像	～笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校～ ・児童にとって、安心安全が確保され、しっかり学び、元気に遊ぶことができる学校
目指す児童像	～笑顔であいさつができ、思いやりのある子供～ ・気持ちの良い挨拶を自然に行い、他者を思いやる行動ができ、すすんで共生・共助に努める子供
目指す教師像	～子供のことを第一に考えることができる教職員～ ・家庭や地域と連携し、子供一人一人のよさを認め、支え、伸ばすことのできる教職員

○令和7年度 学校経営計画における重点内容
【学校と保護者や地域の方々と形成する「中和の輪」、そして協働して取り組む「チーム中和」】

- ・生涯学習の基盤となる確かな学力を身に付ける。校内研究の主題を念頭に置いた授業作りを行う。
- ・校内研究を通して、理科の技能及び習熟度における指導法を工夫し、教員の指導力向上をめざす。
- ・家庭・地域・学校のそれぞれが互いに連携し合い教育を進めることで、“チーム中和”を合言葉に、開かれた学校を経営盤に置き、協働して教育活動にあたる。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
各教科指導等	○確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。 ①ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び ②自力解決的学習の充実 ③アウトプットを重視した授業	①②ICTを活用した授業と紙ベースでの棲み分けを行い、話し合い活動では、ロイロノートを有効活用し、「主体的・対話的で深い学び」につなげる。 ③振り返りの時間を1時間の授業の中に取り入れ、知識の定着を図る。	4	アウトプットの実施状況 95%以上	3	4	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 90%以上	4	・単元ごとのふりかえりシートやワークシートにより、確実にアウトプットを行うことができた。そのことが学習内容の理解に繋がった。	A	B	・授業以外に朝学習や放課後学習クラブ、中和塾を通じて着実に学力を身に付けられる環境が整備されていると感じる。
			3	アウトプットの実施状況 85%以上		3	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 80%以上					
			2	アウトプットの実施状況 75%以上		2	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 70%以上					
			1	アウトプットの実施状況 75%未満		1	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 70%未満					
	○特別な支援を必要とする子供に対する、組織的な支援等を行う。 ①個別指導や支援を必要とする児童への配慮 ②教職員の理解と知見を深める。	①月1回以上校内委員会を開催し支援を必要とする児童へ早期に対応策を練り、実施・評価・改善を行う。 ②年2回巡回指導講師による教職員対象の校内研修会を実施し、そよかせ学級との交流授業を月1回以上行う。	4	校内研修会・交流授業の実施状況 100%	3	4	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 90%以上	3	・教職員からの情報共有を受け校内委員会ですぐに検討し、児童の行動問題・学習課題・情緒面の不安定さなどの未然防止的にアプローチできた。 ・課題としては、情報提供の量やタイミングが担任によって差が出ることもあった。	A	A	・概ね良好であるとのご意見多数。
			3	校内研修会・交流授業の実施状況 90%以上		3	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 80%以上					
			2	校内研修会・交流授業の実施状況 80%以上		2	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 70%以上					
			1	校内研修会・交流授業の実施状況 80%未満		1	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 70%未満					
	○教員の指導力・授業力向上のための、組織的な取組等を行う。	○墨田区教育委員会研究協力校の2年次として理科を中心に校内研究を行い、授業力向上を図る。 ○OJTの体制を主任教諭や主幹教諭と連携し整えていく。月1回以上、主任教諭主導のOJT研修を実施する。	4	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 90%以上	3	4	教員アンケートの「授業力向上につながった」肯定的回答90%以上	4	・令和6・7年度墨田区教育委員会研究協力校として、授業研究を行った。 ・全学級が研究授業を行い、お互いの授業を見ることで授業力向上を図ることができた。	A	A	・2年間で学んできたことを、理科だけではなく、他教科にも応用し、学習内容の理解につなげるようにしていく。
			3	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 80%以上		3	教員アンケートの「授業力向上につながった」肯定的回答80%以上					
			2	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 70%以上		2	教員アンケートの「授業力向上につながった」肯定的回答70%以上					
			1	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 70%未満		1	教員アンケートの「授業力向上につながった」肯定的回答70%未満					
生活指導等	○いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ・いじめや差別のない学級・学年・学校づくりに努める。	・児童間のトラブル等の早期発見、早期対応、早期解決を目指す。 ・こころ部を中心に毎週の生活指導夕会でいじめや不登校の事案について確認し共通理解する。	4	教員アンケート「子供の問題や悩み丁寧に対応し適切に指導する」肯定的回答100%	3	4	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 90%以上	4	・毎週の生活指導夕会でいじめや不登校の事案について確認し共通理解することができた。 ・昨年と比べると細かい案件も出されるようになってきたが、まだ共有しきれていない部分もある。	A	A	・いつも細やかな対応をしてくださりありがたい。
			3	教員アンケート「子供の問題や悩み丁寧に対応し適切に指導する」肯定的回答90%以上		3	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 80%以上					
			2	教員アンケート「子供の問題や悩み丁寧に対応し適切に指導する」肯定的回答80%以上		2	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 70%以上					
			1	教員アンケート「子供の問題や悩み丁寧に対応し適切に指導する」肯定的回答80%未満		1	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 70%未満					
	○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ・中和スタンダードの励行	・校門での朝のあいさつ指導を毎日行う。 ・きまりを守ることの意義を校長講話や道徳の時間などを通して、考えさせ、児童自ら学校生活をよりよくできるようにする。	4	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 100%	4	4	児童アンケート「学校のきまりを守っている」項目の達成率90%以上	4	・管理職と看護当番の教員とで、毎朝挨拶指導を続けることができた。児童朝会でも挨拶にまつわる話を行った。加えて、学校のきまりを守ることを意識させることもできた。	A	B	・校内での決まりは守ることができるようになってきたが、道の歩き方や公園での遊び方について課題がある。児童朝会の講話や道徳の授業等で、社会のルールについてもしっかり学習させる。
			3	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 90%以上		3	児童アンケート「学校のきまりを守っている」項目の達成率80%以上					
			2	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 80%以上		2	児童アンケート「学校のきまりを守っている」項目の達成率70%以上					
			1	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 80%未満		1	児童アンケート「学校のきまりを守っている」項目の達成率70%未満					
	○危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。 ①緊急時の避難行動、集団下校の様子の確認及び安全指導の徹底 ②危機対応マニュアルの徹底	①月1回の安全指導と避難訓練に緊張感をもって取り組む。特に避難訓練では、「考える」訓練を実施し、事後の振り返りを必ず行う。 ②看護当番、校庭見守り等の徹底と月1回の安全点検の実施	4	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 100%	4	4	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 90%以上	4	・時間の短縮が目的ではなく、あくまでも訓練が有事の時に役立つように、児童一人一人が「考える」訓練を行った。訓練後のふりかえりをきちんと行うことで、訓練に真剣に取り組む姿勢が見られた。	A	A	・実際のことを想定した訓練は大事なので続けてほしいし、考える避難訓練は意味がある取り組みだと思う。 ・不審者の対応等、児童も教職員も落ち着いて行動できたのは評価できる。
			3	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 90%以上		3	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 90%以上					
			2	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 80%以上		2	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 80%以上					
			1	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 80%未満		1	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 80%未満					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校の管理運営	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ・主幹、主任教諭による組織的な体制づくりと4部会の計画的な企画・実施	○経営会を週に1回以上、主任会を月に2回以上設定し、管理職と主幹教諭。主幹教諭と主任教諭、そして主任教諭同士の横の繋がりを意識した学校運営を行う。	4	主幹会・主任会の実施状況 100%	4	4	教員アンケート「組織的な教育活動内容項目」で達成率90%以上	4	・Teamsを活用した情報交換を常に実施し、チームとして教育活動に取り組むことができた。しかし、人によって受け取り方が違う場面が見られ、誤解を生じることがあった。対面の必要性を感じた。	・働き方改革実現に向けて、集合での会議を減らしているが、効率的である一方、集合形式での会議の重要性も見直されている。経営会や主任会を機能させ、進捗状況の確認作業を行う	A	B	・概ね良好であるとのこと意見多数。
			3	主幹会・主任会の実施状況 90%以上		3	教員アンケート「組織的な教育活動内容項目」で達成率80%以上						
			2	主幹会・主任会の実施状況 80%以上		2	教員アンケート「組織的な教育活動内容項目」で達成率70%以上						
			1	主幹会・主任会の実施状況 80%未満		1	教員アンケート「組織的な教育活動内容項目」で達成率70%未満						
	○子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。 ・PDCAサイクルに基づいた学校運営	○中間評価と年度末評価を実施し、PDCAサイクルによる課題解決を目指す。 ○生活アンケートやアイチェック等の結果を分析し、学校運営の改善に努める。	4	適切な学校評価の実施 100%	3	4	教員アンケート「教育目標」項目で肯定的回答 90%以上	3	・アンケートによる「教育目標」に関する肯定的評価は86%と高いが、裏を返すと適切ではないと答える割合も一定数いる。依然として教育目標が抽象的で保護者にはわかりにくい面があるかもしれない。	・抽象的な教育目標を行動的な文言に具体化し見える化していく。 ・具体的な方策等を学校だよりやHPなど、情報を発信するツールを利用して広めていく。	B	B	・教育目標が具体的にどの活動に降りてきているのか少しわかりにくい。
			3	適切な学校評価の実施 90%以上		3	教員アンケート「教育目標」項目で肯定的回答 80%以上						
			2	適切な学校評価の実施 80%以上		2	教員アンケート「教育目標」項目で肯定的回答 70%以上						
			1	適切な学校評価の実施 80%未満		1	教員アンケート「教育目標」項目で肯定的回答 70%未満						
	○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	○まなび部による掲示物の年間計画を実施するとともに、全教職員による環境整備を年6回実施する。	4	年間計画・環境整備の実施率 100%	4	4	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答 90%以上	4	・全教職員による環境整備を年3回以上実施し、教室や廊下の環境整備に努めることができた。 ・個人の机やロッカー等の整理も併せて行うことで、教室の美化につなげることができた。	・今年度は学芸会があったが、大きな行事ごとにそれぞれで使用する道具などの整理を実施する。 ・どこかで活用できるだろうと長年ストックしているものも、その価値を見極め整理していく。	B	B	・季節ごとに掲示物が入れ替わっていて、楽しく拝見している。 ・校長室前の掲示や理科コーナーは子供も保護者も楽しめる。
			3	年間計画・環境整備の実施率 90%以上		3	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答 80%以上						
			2	年間計画・環境整備の実施率 80%以上		2	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答 70%以上						
			1	年間計画・環境整備の実施率 80%未満		1	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答 70%未満						
家庭・地域連携	○伝統を受け継ぎ、児童と教職員、保護者や地域の方々と協働した学校作りを行う。	○学校だけでなく、地域や保護者を巻き込んだイベントや行事を実施する。 ○地域やPTA主催の行事に、児童も教職員も参加することにより連携を深める。	4	教員アンケート「保護者地域と連携協力」肯定回答90%以上	3	4	保護者・地域アンケート肯定的回答90%以上	4	・肯定的回答が高いのは、周年行事を協働して実施したことによる、地域との結びつきを実感できたことが大きい。 ・今年度は6年生有志によるマーチングバンドが地域のイベントに参加した。	・マーチングバンドの地域行事参加は、学校にとっても地域にとってもよいことではあるが、それを持続させていくことは学校だけでできることではないので、地域の力を借りながら進めていきたい。	A	A	・6年生のマーチングバンドが地域の盆踊りや校友会主催のふるさとフェスに参加したのはとてもよかった。続けてほしい。
			3	教員アンケート「保護者地域と連携協力」肯定回答80%以上		3	保護者・地域アンケート肯定的回答80%以上						
			2	教員アンケート「保護者地域と連携協力」肯定回答70%以上		2	保護者・地域アンケート肯定的回答70%以上						
			1	教員アンケート「保護者地域と連携協力」肯定回答70%未満		1	保護者・地域アンケート肯定的回答70%未満						
	○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	①学校だより、学年だよりの電子化を図り、学校生活の様子を伝える機会を増やす。ホームページによる情報発信を定期的に行う。 ②学校公開や保護者会、学校説明会等の情報発信を行う。	4	公開や学校生活の情報発信の実施状況 90%以上	3	4	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答 90%以上	3	・定期的に学校だよりや学年だより、ホームページの更新を行っているところだが、情報発信を少ないと感じる人が一定数いる。	・働き方改革を掲げている以上無理なことができないが、情報発信のデジタル化などできることから始めている。小規模のプロジェクトチームを発足し、ICT教育に強い学校にしていく。	B	B	・学運協では学校の環境や現状、取り組みなどをわかりやすく説明している。 ・学校だよりも学校の現状把握に役立っている。
			3	公開や学校生活の情報発信の実施状況 80%以上		3	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答 80%以上						
			2	公開や学校生活の情報発信の実施状況 70%以上		2	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答 70%以上						
			1	公開や学校生活の情報発信の実施状況 90%未満		1	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答 70%未満						
	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ・地域の教材化、地域人材の活用で学びの場や遊びの場の機会を拡充させる。	・放課後学習クラブや中和塾等の学習支援の充実、中和こどもひろば運営委員会と連携し、放課後の遊び場の提供を実施する。	4	放課後活動の実施・人材活用状況90%以上	4	4	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目90%以上	4	・地域や保護者、児童の協力で「こどもひろば」の活動が行われている。放課後の子供たちの居場所を確保できている。 ・地域ボランティアの高齢化や担い手不足が課題である。	・大学生や高校生へボランティアの募集を行ったり、PTAや保護者に「単発参加型ボランティア」を案内する。さらに高齢者が得意な領域（昔遊び・手芸・読み聞かせなど）を活用していきたい。	A	A	・ふるさとフェスに先生方がブースを開いてくれたが、今後も続けてほしい。
			3	放課後活動の実施・人材活用状況85%以上		3	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目85%以上						
			2	放課後活動の実施・人材活用状況80%以上		2	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目80%以上						
			1	放課後活動の実施・人材活用状況80%未満		1	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目80%未満						

○令和7年度 学校経営報告のまとめ（総括）

・今年度の学校評価について、保護者アンケートでは「健康で明るい子供」「学校は保護者や地域と協働している」「安全指導や対策について配慮している」の項目で、地域アンケートではすべての項目で肯定的回答90%以上の高評価をいただいた。自由記述でも全体的に肯定的なご意見が多く、特に学校行事（運動会・学芸会など）の教育的効果や地域連携・協働への感謝と期待が示されている。

・保護者アンケートにおいて評価の低かった項目では、「わからない」と回答したのが一定数見られた。学校の良い取組を全家庭に適切に情報発信し、保護者や地域との連携を確かなものにしていく。

・保護者アンケートには授業中の学習環境の安定化や教員の児童に対する行動面の支援と対応の一貫性を求める意見も一定数見られた。学級経営や学習規律の統一的な見直しと行動面の課題がある児童への支援について、学校としての方針と実践の統一、情報共有の強化を行う。